

---

# ガーディアンズ・テンペスト

でいる

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ガーディアンズ・テンペスト

### 【Nコード】

N3857Y

### 【作者名】

でにいろ

### 【あらすじ】

護衛の役目、それは 必ず護ること。

治外法権特区である夜桜市には、世界各国から様々な令嬢たちが集まる。そして皆通うのが、『シーブルグ女子学院』

そんな乙女の園へと入ることになったミナト。勝手のわからないミナトは、どんどんとトラブルの渦に巻き込まれていく。

## プロローグ

0

俺は動けずにいた。

突きつけられる銃

その銃口は俺ではなく、金色に輝く髪をした少女に向かっている。

彼女は銃を目の前にしながらも、揺らぎひとつ見せていない。

それどころかそのひたすら蒼い眼で相手を睨み返している。

「ミナト！　こんなやつに耳を貸す必要はないわ！」

本当に大した女だと思う。

俺だつて足がすくんでいるというのに。

「ふふふ、面白い女ね。この期に及んで、そんな口がたたけるなんて」

目の前の女がおもしろげに、あるいは馬鹿にしたように笑う。

こいつのいうとおりだ。

無理なんだよ、俺はあいつを超えられない。

だから……、

「わかった、オマエのいうとお　」

「ふざけるな！！」

少女の怒声が辺りに響く。

俺の声は、彼女によって　霧散する。

「あんにどんな過去があったか、私は知らない！　でも、あんたは……」

少女の目には、大粒の雫が溜まっている。

涙だ。

彼女は、俺のために泣いている。

くやしい。彼女に涙を流させる自分の弱さがくやしい。でも俺に

は……

「ミナト！ あんたは、私の護衛でしょ……！」

……

その言葉が聞こえた時、俺の中で何かが変わった。心の中で一つだけ足りなかったピースがはまったような気分だ。さっきまでの恐怖も不安もいまはない。それどころか力が湧き出るようにも感じる。迷いが……消えていく。

「私の護衛は、『最強』の護衛！ ミナト！ あんたが負けることは許さないわ！」

少女の叫び声が心に響き渡る。

そうだった。

俺は『最強』。傲慢で、わがままで、泣き虫なお嬢様の「勝ちなさい！ これは命令よ！」

ただ一人だけの護衛。

## プロローグ（後書き）

評価や感想は、作者の青春パワーや妄想パワーの糧となりますので、ご協力お願いします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3857y/>

---

ガーディアンズ・テンペスト

2011年11月10日08時12分発行